

「情報公開文書」

受付番号：2023-4-034

課題名：乳酸菌摂取と疾病罹患・生理機能低下との関連解析に関する研究

1. 研究の対象

2021年3月までに上記の「乳酸菌摂取と疾病罹患・生理機能低下との関連解析に関する研究」に参加された方。

2. 研究期間

2017年5月～2026年3月

当初2021年3月に終了予定でしたが、さらなる発展が見込まれる為、研究期間を延長します。

3. 研究目的

疾病罹患や生理機能低下の予防に対する乳酸菌飲料摂取の意義を明らかにする。

4. 研究方法

地域住民コホート調査および三世代コホート調査の参加者を対象に、乳酸菌飲料の摂取頻度に関する調査票の回答を依頼する。乳酸菌飲料の摂取状況を調べることで発酵乳の摂取が健康に与える影響を調査・検討する。また本研究では、みなさまにご同意いただいで実施している東北メディカル・メガバンク計画の調査情報や各種疾患発症登録情報（がん登録情報を含む）とも併せて詳細な検討を行う。がん登録情報のデータ利用については宮城県立がんセンター・宮城県がん登録室へ別途利用申請を実施し、承認を得てから実施する予定である。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・乳酸菌摂取の商品ごとの摂取頻度データ
- ・東北メディカル・メガバンク計画が実施している調査情報
- ・各種疾患発症登録情報（がん登録情報を含む）

6. 外部への試料・情報の提供

将来的に東北メディカル・メガバンクの一環としてバイオバンクに格納されるため、同意を受ける時点では特定されない将来の研究に用いられる可能性があり、その内容については予見できない。

7. 研究組織

研究責任者

寶澤 篤

東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 教授

松本 敏

株式会社ヤクルト本社 研究開発本部 理事

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて参加者のみなさまにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも参加者のみなさまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

寶澤 篤

東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門

個別化予防・疫学分野

〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

TEL：022-718-5161

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合

◆利益相反について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。本研究は、株式会社ヤクルト本社との共同研究により実施します。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究における企業等との利害関係に追加・変更が生じた場合は、所属機関において利益相反の管理を受けることにより、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。